

採択大学等名

東北大学

(共同申請校:東北学院大学)

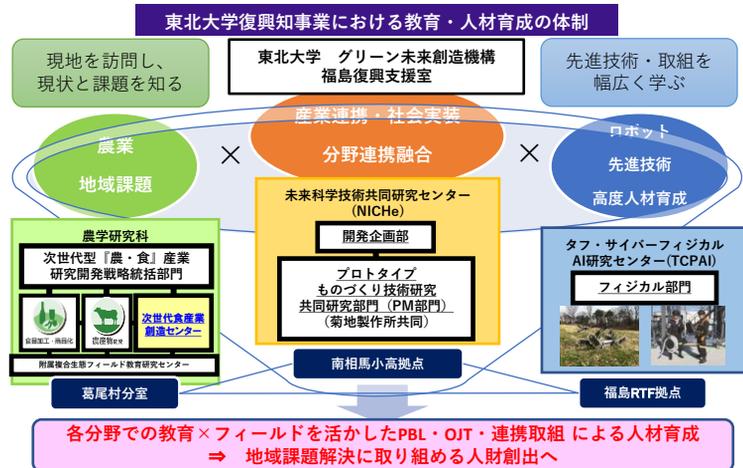
連携市町村名

南相馬市、浪江町、葛尾村

取組概要(目的)

震災発生後10年超にわたる復興への取組経験と多様な学内リソースを動員し、課題解決と地域産業振興の具現化を行える学際的人材をOJT、PBLにより育成するための基盤構築に取り組む。このため、実施部局 (NICHe、農学研究科、TCPAI) による地域社会実装を意識した連携融合の取組を具体テーマごとに深化させる。

人材育成目標: 「先進技術・取組を幅広く学ぶ」、「技術・知見を統合し課題解決に導く」、「現地を訪問し現状と課題を知る」教育・人材育成プログラムにより、各分野の専門人材および分野連携融合を推進する人材を育成し、その掛け合わせにより具体的に地域社会の課題解決に貢献できる教育・人材育成基盤構築を推進する。



これまでの成果

■各重点分野における研究・教育関連の取組

○ロボット関連分野

- ・RTFを活用したPBL教育プログラム実施と普及啓発 (のべ70名超)
- ・World Robot Summit 2020の誘致実現など国際イベント実施への協力

○農学分野

- ・人材育成: 「復興農学/復興・IT農学」の継続実施: 受講生数135名
- 「被災地エクステンションツアー (葛尾村、南相馬市、浪江町) の継続実施: 催行回数9回、訪問件数29件、参加者数275名、農学に加え工学系学生も参加
- ・事業創出: 浜通り産作物ブランド化・地域特産品開発
- カラシナ (ふりかけ、マスタード)、加熱調理用トマト (2年で700株程度配布)、マンゴー植物工場 (収穫を2~3か月遅らせる栽培法を確立、マンゴーフェスティバルを開催し70名程度にスイーツを配布、ミニカラフラワー (糖度が1度程度向上) など
- ・鳥獣被害対策: 葛尾村における実証、小高での取組、鳥獣被害対策シンポジウム

○農工連携・ものづくり分野

- ・アイガモロボ実証の実施 ⇒ 雑草抑制効果、稲の収量増加を確認 (反収6→8俵)、有機農業への農法転換の条件検討
- ・浜通り次世代セミナーの実施 (のべ700名超)
- ・ワイヤレス給電実証・ジュニアセミナー実施 (東北学院大)
- ・小高産業技術高校出張講義
- ・高校生向け起業家教育の試行的実施

■その他、地域活性化への貢献

- ・地域イベント協力: 葛尾村あぜりあ市、ロボテスEXPO、ロボテス縁日、南相馬市子ども未来フェスティバル、復興なみえ十日市まつり など



アイガモロボット導入セミナー

事業終了時点の成果及びその後の見通し

■各重点分野における現地研究活動の持続発展 + 分野連携融合の促進 + 地域への還元

- 浜通り地域の産業 (ロボット関連産業等) を下支えする人材の浜通り地域からの輩出
- 地域特産品、忌避作物の普及展開、スマート農業の普及による半農半Xモデルの形成
- 新たな形態の農法 (例: アイガモロボ活用) の確立と展開
- 福島RTFや現地拠点を活用したOJT・PBL人材育成、企業連携、大学間連携等のさらなる推進 等

